

欧州景気の回復とともに 収益拡大が期待されるドイツ企業

昨今の株式市場では、先進国株式の好調さが目立っており、なかでも、ドイツの主要企業30社で構成されるDAX指数は、米国の主要株式指標と並んで過去最高値を更新しています。日米独の直近1年の騰落率でも、良好なパフォーマンスとなっており、こうした好調な株価の背景には、輸出をはじめとしたドイツ経済の強さが挙げられます。

欧州最大かつ世界第4位の経済規模を誇るドイツは、欧州諸国が債務危機により景気後退を余儀なくされるなか、2010年に急回復を見せ、その後プラス成長を維持してきました。同国は、高い技術力を武器とした製造業を強みとしており、自動車や医療、化学、工業など、幅広い分野において、世界的に知名度の高い企業を数多く有し、高品質のドイツ製品を、欧州中心に世界へ輸出しています。特にここ数年は、生活水準が急速に向上するアジアをはじめ、欧州域外向けの伸びが顕著となるなど、世界景気の復調を背景とした輸出の拡大が、ドイツ経済を支えてきました。

また、国内においても、2000年代初頭に行なわれた大規模な労働改革以降の企業努力もあって、失業率は2005年以降、大きく改善しており、他の主要国では悪化傾向も見られるなか、ドイツは東西統一以降で最低水準となっています。こうした良好な雇用環境を背景に、個人消費は堅調さが続いていることなど、外需、内需ともに底堅い状況となっています。

2014年は、ユーロ圏のプラス成長への転化が見込まれることから、今後は主要輸出先である欧州向け輸出も上向くことが予想されます。そのため、足元で、先進国全体を上回る伸びとなっているドイツ企業に対する収益拡大期待がいつそう高まるとともに、ドイツ株は、今後も注目が続くものとみられます。

好調な株価推移を続けるドイツDAX

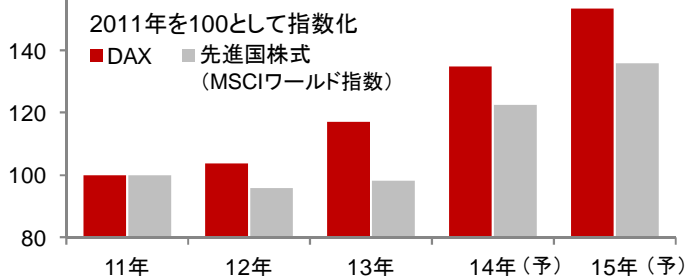
【主要指標の騰落率】

	独DAX	NYダウ	日経平均	米ドル	ユーロ
3ヵ月	4%	1%	-4%	1%	2%
6ヵ月	15%	9%	11%	4%	6%
1年	25%	20%	31%	11%	17%

2014年2月25日時点。株価はいずれも配当込み、為替は対円。

【EPS(1株あたり企業収益)の推移】

(2011年～2015年予想)



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

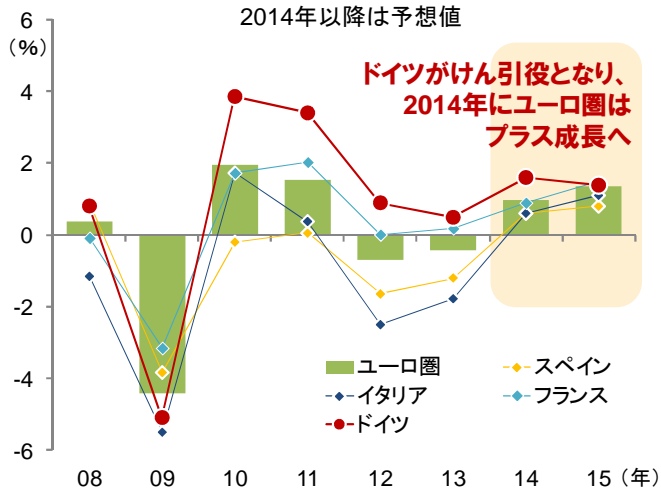
※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

ユーロ圏の景気回復とともに、 成長加速が期待されるドイツ経済

【ユーロ圏のGDP成長率(前年比)】

(2008年～2015年予想)

2014年以降は予想値



出所:IMF「World Economic Outlook」

2013年10月版ならびに2014年1月改訂版

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。